

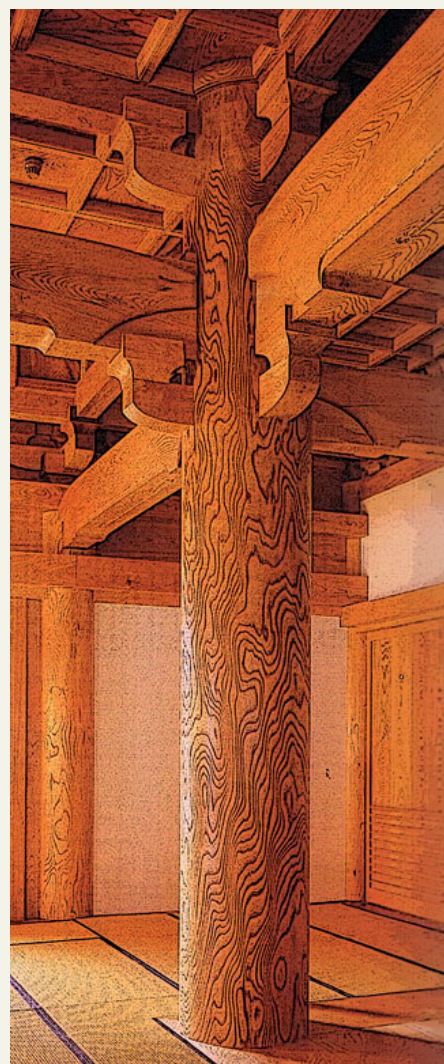
第8回「継手・仕口の歴史的変遷 と耐震化架構体の考案」

「構造即意匠」を特質とする日本の伝統木造建築は、設計に際して、意匠と構造の問題を同時に解決していくことが求められる。しかし、構造的には不明な部分が多く、伝統木造の利点を現代に活かすためには、耐震化の道は避けて通れない。

そこで、建築基準法の性能規定化をも視野に入れながら、伝統木造建築を新たに設計するという視点に立って、伝統木造の耐震化について二回に渡って語る。

全体の内容は「継手・仕口の研究」「耐震化架構体の考案」「実大実験による実証」「耐震要素別実験」「限界耐力計算による耐震性能評価」について、事例を挙げながら語っていく。

第一回目は伝統木造耐震化の要である継手・仕口について、歴史的考察を試み、歴史的建造物の中に優れた構法を発見し、現代の構造力学的観点から改良を加え、新たに耐震化架構体を考案し、更にその耐震性能を実大実験により実証するまでを実例を交えて語る。



【日 時】平成 22 年 5月8日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】東京芸術大学美術学部 中央棟 2階第 3 講義室 (台東区上野公園 12-8)

【講 師】木 内 修 氏 木内修建築設計事務所代表

【定 員】100 名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000 円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO 日本民家再生協会内 担当：金井)

TEL : 03-5216-3541 FAX : 03-5216-3542

Eメール : koremoku@e-mail.jp

【締 切】5 月 6 日 (木)

参加者 1 名ごとに、氏名、所属、電話、
ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO 伝統木構造の会
有限責任中間法人 日本曳家協会
NPO 日本民家再生協会
NPO 緑の列島ネットワーク

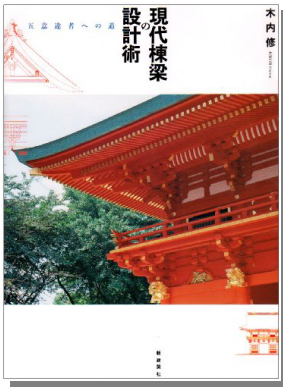
※次回予定：6 月 19 日



【交通】東京メトロ：銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩 15 分
千代田線根津駅下車 徒歩 10 分
京成電鉄：京成上野駅下車 徒歩 15 分

■講師プロフィール

木内 修 氏



千葉県生まれ

東京理科大学理工学部建築学科卒業後、清水建設入社建築設計本部所属。1978～1980年の間、清水建設在籍のまま伊藤平左門氏の伊藤建築設計事務所にて伝統木造社寺建築設計技術を学ぶ。

大学卒業後一貫して民間の仕事の中に身を置き、独自に過去の木造建築の調査・研究より独自の仕口、継手を考案し、実験データを重ね、解析まで行う。

大石寺六壺など研究の結果をカタチにした作品も多数。著書に「現代棟梁の設計術―五意達者への道」(新建築社)がある。木内修建築設計事務所代表。

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第8回 「継手・仕口の歴史的変遷と耐震化架構体の考案」に参加します。

	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

FAX 03-5216-3542